— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

今年度初

“ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年4月17日（土）午前9：00開始

ところ：JA庄内みどり 本所東側職員駐車場

【今回の見どころ】

新井田川沿い桜の遊歩道

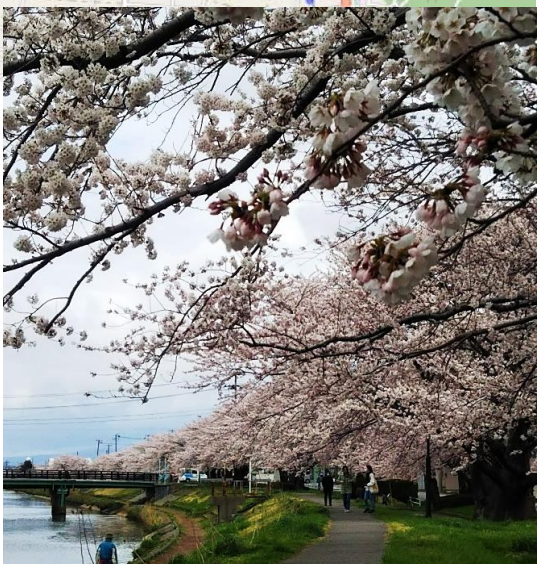
【新井田川】

『新井田川』は、山形県が管理する二級河川。新井田川の源流は生石付近であり、矢流川と呼ばれていたが改修工事を機会に本流の名称は全体が新井田川と統一された。
新井田川水系とは平田川・境川・寺田川・幸福川・豊川・新井田川を合わせて6河川である。
新井田川の河口は酒田市北新橋クリンセンター前から右、幸福川に分流し北に流れ豊川に入り北港に出る河口と、クリーンセンター前から左に流れ酒田本港に流れる河口がある。

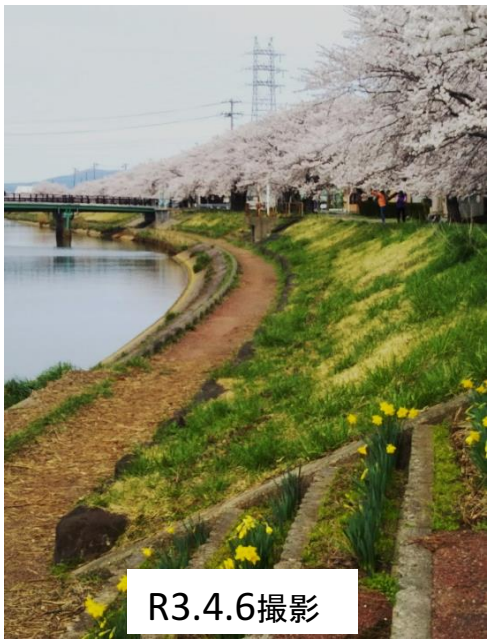
【こころのふるさと新井田川の会】

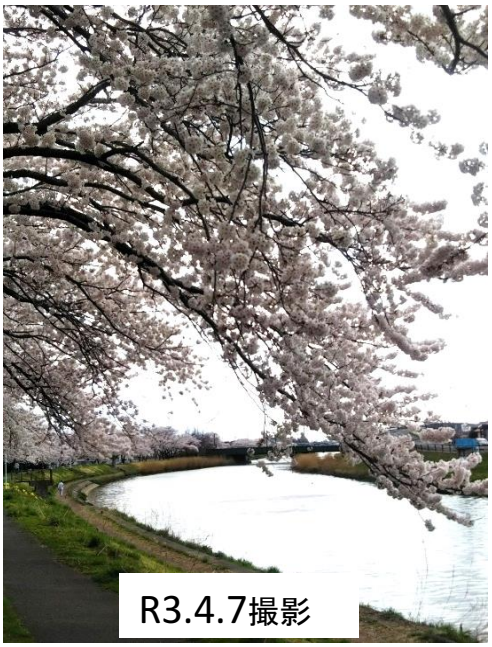
川沿いの自治会の方々を中心に、企業など6団体の協力を得て平成15年4月に活動を開始した。
当初は、イタドリ、ススキ等が繁茂していたが、刈払機で草刈を続けた結果、年々綺麗になった。
春、川辺の19箇所の花壇に3,600株の花苗を植え、水やり除草の管理をしている。又、左岸堤防の遊歩道脇には、ヒマワリ・コスモス等を植え、フラワーロードを作っている。
年3回水質検査をして水の浄化を見守っている。
堤防周辺の450本の桜も立派な桜並木になり、地域住民のウォーキングや散歩コースとして親しまれている。

（資料：酒田市公式ホームページより）

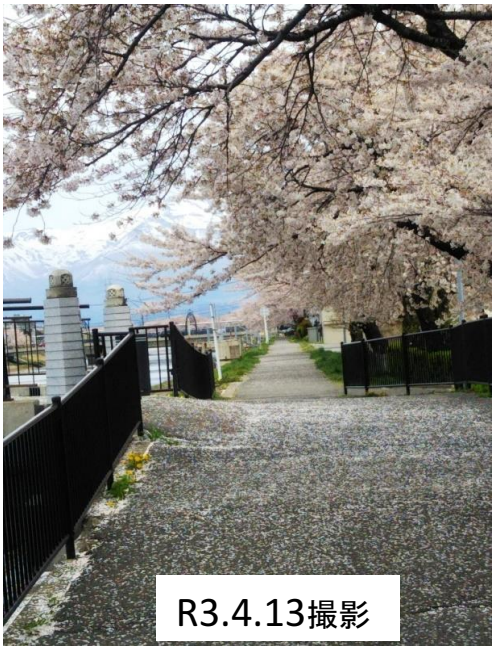


今年は、昨年より**1**日、平年より**14**日早く**3/31**日に開花した（R**3.4/5**撮影）


R3.4.6撮影


R3.4.7撮影

R3.4.13撮影


R3.4.13撮影

R3.4.17撮影

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

第2回 “ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年5月22日（土）午前9：00開始

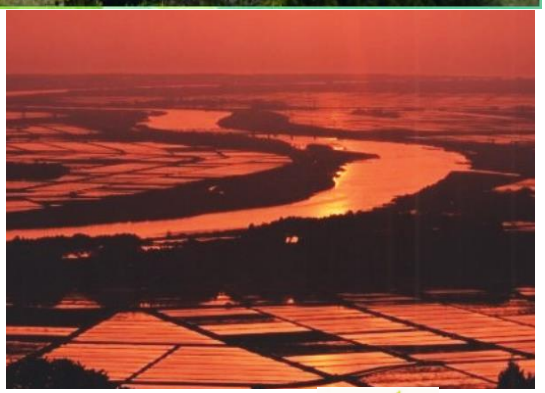
ところ：松山 眺海の森駐車場

【今回の見どころ】 案内：森の案内人5名の皆さん

松山 “眺海の森” 遊歩道

【眺海の森（ちょうかいのもり）】

酒田市の旧松山、旧平田両町に広がる通称外山一帯約300haの“眺海の森”は、庄内平野を流れる最上川、鳥海山を一望できるロケーションにあり、特に夕日が庄内平野を茜色に染め日本海に沈む様は、四季を通して絶景となる。スキー場、キャンプ場等のアウトドア施設や学習施設があり、「県民の森」として親しまれている。



森林案内

「森の案内人」による動植物を観察しながら、「遊歩百選」にも選ばれた遊歩道の散策やトレッキングもおすすめ。

木工クラフト教室

自然の素材を使ったクラフト等の創作活動が子供たちにも大人気。

『峰の薬師』

最上川 ビューポイント

写真・資料：一般社団法人 庄内森林保全協会公式HP、案内資料より

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

第3回 “ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年6月26日（土）午前9：00開始

ところ：八幡 玉簾の滝(産直 鳥海山南テラス)駐車場

【今回の見どころ】

八幡 “玉簾の滝” と バラ園

玉簾の滝

『玉簾の滝』は、約1200年前に弘法大師（空海）が神のお告げにより発見、命名したと伝えられ、落差63m幅5m直瀑としては県内随一を誇る。絶壁から豪快に流れ落ちるさまは壮観。かつては山岳宗教の修験場であり、滝の前には「御嶽神社」が祀られている。
周辺には、杉の大木があり、マイナスイオンがあふれていることからパワースポットとしても人気。寒さが厳しい1月中旬から2月上旬には、滝全体が凍る「氷瀑」を見ることもできる。又、ゴールデンウィークとお盆の時期にはライトアップも実施され、日中とは違う幽玄な世界を見ることができる。今年の夏休み期間：8月11日(水)～8月22日(日)の予定

（資料・写真：酒田市公式HPより）

池田ばら園

池田 善幸さん

☎ 090-3981-7094

池田さんの住む升田地区は標高約220m。鳥海山の豊富な伏流水に恵まれ、平成9年より軽量鉄骨ハウス3棟で100%地下水利用の溶液栽培による薔薇の周年栽培に取り組んでいる。平成23年からは『鳥海山麓から日本一の品質の薔薇を届けるプロジェクト』を立ち上げ、他産地に負けない高品質な薔薇の生産に努めている。現在は、年間18種類、約30万本のバラを栽培、切り花として全国に出荷している。

株式会社 フレッシュ

鳥海山に振る雨や雪は、ブナなどの原生林にしみ込み、長い年月をかけて地中で磨かれ、ミネラル分豊富な伏流水となる。当社は井戸からその伏流水を採取し、各種清涼飲料水の製造を行なっている。又当社が開発した「新SENキャップ®」は、キャップ内にお茶などの粉末を充填し、キャップを回すと、粉と水が混ざりあうことで、作り立てのおいしさを味わうことができる。（平成17年設立）

（資料・写真：㈱フレッシュ公式HP）より

（昭和62年設立） 有限会社 升田缶詰

鳥海山
氷河水

鳥海山氷河の湧水。ミネラルたっぷりの鳥海山氷河水

生肉挽 粥一番

自社栽培のササニシキを100%使用した完全無添加の粥一番しろがゆ缶詰シリーズと自社栽培 鳥海山黒豆の甘煮 缶詰

（資料・写真：(有)升田缶詰HP）より

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

第4回 “ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年7月24日（土）午前9：00開始

ところ：JA庄内みどり　平田中央支店　駐車場

【今回の見どころ】

平田 “最上川堤防と飛鳥沼公園”

山形県を流れる母なる川最上川。しかしその流域に暮らす人々は、度重なる最上川の氾濫に苦しめられてきた。1789年庄内藩は幕府に280石の天領(幕府領)だった飛鳥・砂越地区の国役普請を請願し、1791年から大規模な堤防改修工事が行われた。俗に「公儀土手」と呼ばれた。現在は、JR砂越鉄橋から約2kmの堤防沿いに約130本の桜の木が植えられ、春には見事な桜並木で楽しませてくれている。

（酒田市立資料館第211回企画展「最上川氾濫と治水」より）

【飛鳥沼公園】

かつて最上川が蛇行していた名残りの河跡湖。以前は、農業用池として利用されていたが、現在は親水公園として周遊歩道には野鳥観察小屋や浮島が設置され、冬には白鳥等渡り鳥も飛来し、動植物との共生を目指した豊かな自然公園になっている。酒田市内で唯一ブラックバスやブルーギルが生息している沼として釣りを楽しむこともできる。又、グランドゴルフ場も整備され、市民の憩いの場となっている。

株式会社みどりサービス　マルノー山形（食品部）

地元食材を使い昔から慕われてきたみそ・醤油のJA山形農工連は、平成28年4月にJA庄内みどり100%出資の子会社株式会社みどりサービスの食品部『マルノー山形』としてスタート。そして、さらに今年新たな進化を遂げている。

❀ジェラードを新発売

▲ 干し芋ジェラート

◀ 左から
とび魚だしジェラート
雪若丸あまざけジェラート
柿酢＆アップルジェラート

マルノー山形の主力商品を使ったジェラートを新発売。ミルクの甘みと製品の風味が絶妙な味わいになっている。他にはないおいしさをぜひ味わってみて!!　砂越の直売所と山居館で販売

是非食べてみてネ!!

砂越の直売所 マルのん

❀イメージキャラクター「マルのん」誕生！

大豆をモチーフにしたイメージキャラクター「マルのん」が誕生。直売所の愛称も「マルのん」だよ。覚えてね！

（マルノー山形公式ホームページ及びJA広報みどり5月号より）

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

第4回 “ウォーキング倶楽部”

と　き：令和3年7月24日（土）午前9：00開始

ところ：北俣(旧平田町)鹿島公民館駐車場

【今回の見どころ】

平田　“深緑の十二滝”

庄内三名瀑《二ノ滝》《玉簾の滝》《十二滝》のひとつ。その名の通り、大小十二段からなる滝で、岩肌をつたって流れ落ちる白い水しぶきや緩急の変化ある水の流れが、滝ごとの表情をまったく違ったものにしています。

上段から
①水汲み滝
②てんつき滝
③白紙垂の滝
④天狗滝
⑤南滝
⑥抱きかえりの滝　⑦火揚げ滝　⑧蛇の滝　⑨九の滝
⑩河原滝　⑪芯の滝　⑫合格滝　です。

名前は、十二支とか仏教の十二神将から名付けられたという説があります。

今から約1000万年前～600万年前に日本海の海底で火山活動がとても活発になり、十二滝周辺はその時海底で火山の溶岩が固まってできた硬い流紋岩でできています。飛島の舘岩も流紋岩でできています。

岩が硬いおかげで段差ができ、落ち口から流れ出た水が途中で岩などにぶつかって、段を作りながら落下する「段爆」と呼ばれる滝になっています。

〈酒田市、鳥海山・ジオパーク公式ホームページより〉

【鹿島神社】

〈以下、ブログ「神社人」より〉

総本社は茨木県鹿島市の鹿島神宮。

御祭神は武の神“武甕槌命”(タケミカヅチノミコト)

雷神、刀剣・弓術の神、軍神、事業創始・旅行安全の神

御利益：勝利祈願、武芸上達、事業成功、出世開運他

鹿島獅子踊

鹿島神社の祭典8月15日に奉舞されてきました。

獅子頭は明らかに鹿をかたどっており、目には青貝が入れられています。音頭をとる綾笠を頭上に、胸に吊るし太鼓の中踊りの太鼓の音と唄い手の声に合わせて、雄獅子2、雌獅子1、白鷺2、投草1の7名の踊りは、極めて躍動的、かつ迫力に富み、古い「田楽」の要素が伝えられている踊りとして、評価を受けています。昭和58年2月に旧平田町無形民俗文化財に指定されました

〈文・写真：酒田市公式ホームページより〉

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

第5回 “ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年9月25日（土）午前9：00開

ところ：秋田県にかほ市三崎公園駐車場

【今回の見どころ】

遊佐 仲秋の三崎公園遊歩道

三崎公園は、秋田県と山形県の県境にある標高70メートルの三崎山一帯です。約3000年前鳥海山噴火の溶岩で形成され、海水の浸食で切り立った崖が続きます。日本海に突き出た「観音崎」「大師崎」「不動崎」の3つの岬が名の由来となっています。日本海に沈む夕日や飛島を一緒に眺められるビュースポットです。

不動崎

大師崎

羽後三埼灯台

観音崎

公園内に現存する三崎山旧街道は、箱根の山より険しいといわれ、日本海側の街道随一の難所として知られました。「地獄谷」「駒(馬)泣かせ」「沓掛」などの地名が当時をしのばせてくれます。
また、松尾芭蕉が象潟をめざして「奥の細道」の旅をした街道としても有名です。
旧道沿いには山形県の天然記念物であるタブ林、慈覚大師が開いたと言われる大師堂、旧道の石畳などがあり、歴史や自然にもふれることができます。

大師堂(三崎神社)

慈覚大師(円仁)が草庵を結んだ所。大師は三崎山に道路を通す傍ら、仏教の教えを説いていました。大師がこの地を離れる際大師を慕う人々の為に、自分の像を刻み、これを身代わりとしてこのお堂に納めたという伝説があります。現在の建物は江戸時代に建てられたもと言われています。

戊辰戦争慰霊塔

幕末三崎山は戊辰戦争の激戦地となり、双方多数の戦死者が出ましたがその遺体は、誰からも拾われることもなく白骨化していきました。50年近くたった大正4年ようやく供養・埋葬されました。

［写真・資料：フリー百科事典『ウィキペディア』
NPO法人 遊佐鳥海観光協会公式HPより］

三崎山 有耶無耶の関と手長足長伝説

今から1200年程前、三崎山に「手長足長」という恐ろしい怪物が住んでいて、そこを通る旅人を捕らえて食べていました。この怪物は、手が鳥海山まで届き、足は飛島までひとまたぎでした。
関所付近に住む三本足のカラスが、近くに手長足長がいるときは「ウヤ」と鳴き、いないときは「ムヤ」と鳴き知らせた為、人々はこの関所を『有耶無耶の関』と呼ぶようになりました。
慈覚大師はこの話を聞いて退治に出かけました。手長足長は、大師の鋭い眼力と慈しみの心に負け、しまいには、降参してしまいました。
大師は、人間の骨を集めて埋め、そこに五輪塔を建て冥福を祈り、手長足長のために三崎山にたくさんのタブの実を蒔いて行きました。それが現在、天然記念物で三崎山にうっそうと茂るタブの木なのです。

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

第6回 “ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年10月23日（土）午前9：00開始

ところ：酒田市国体記念テニスコート駐車場

【今回の見どころ】

深秋の “万里の松原” 松陵地区

光ヶ丘公園北側に隣接している134haを誇る国有林が万里の松原。もともとは広葉樹でおおわれていたが、戦国時代の戦火、年貢の塩を作るための薪材や建築資材として伐採が進むにつれ森林は荒廃し、やがて飛砂や洪水が人々を苦しめた。この被害にたまりかねた住民は、江戸時代中期庄内藩の援助のもと黒松の植林に着手。長い年月にわたり幾多の先人達の努力の結果、遊佐町吹浦から鶴岡市湯野浜に至る長大な庄内海岸林（総延長約34km）が造成され、昭和26年から国有林野事業となった。

細長い庄内海岸林が「万里（ばんり）の長城」のイメージと似ていることから「万里の松原」と名付けられた。現在ここ松陵地区には、黒松林の中に遊歩道や遊具・炊事棟などが整備され、市民ボランティアやNPOが黒松の保存と遊歩道周辺の整備を行い、春はつつじ、夏はアヤメが咲き誇り、市民の憩いの森林空間として親しまれている。［林野庁HPより］

【虎列刺（コレラ）地蔵尊】

かつて、この附近は明治12年のコレラが流行した際に、遺体を戸板や車で運んで土葬したり、火葬した場所で、大きな藁人形を立て、目印として地元では「コレラ山」と呼ばれた。明治13年に地蔵尊を造立、昭和51年には「無縁の塔」を建立し墓地公園として整備した。平成23年に地蔵尊の覆堂が完成し、現在北千日町旭町会老人クラブが管理している。（「地蔵尊の縁起」より）

— JA健康寿命100歳プロジェクト—

JA庄内みどり 2021

最終回

“ウオーキング倶楽部”

と　き：令和3年11月13日（土）午前9：00開始

ところ：JA庄内みどり 本所東側職員駐車場

【今回の見どころ】

浜田 もろみ地蔵とミライニ

不毛の砂地だった鷹町。昔は、この辺りを“鷹尾山稲荷の森”といって一つの小高い丘でした。酒田から吹浦に通行する人はここを一つの目標にしたといわれ、今も、この辺りを“山の手”と言う人もいます。今回は、山の手新地の鷹町から旧筑後町、旧近江町、旧天正寺町を歩きます。

【もろみ地蔵】

もろみ地蔵にはこんな話があります。昔、酒屋に毎日もろみを買いに来てくれるお坊さんがいました。店主がそのお坊さんの後をついて行く、地蔵がある所でお坊さんが消えたのです。店主が地蔵を見ると、口にもろみがついていました。それから毎日お地蔵様にもろみをお供えするようになると、その店は裕福になったといいます。

酒田駅前に誕生する新しい交流の場所

MIRAINI

酒田駅前の再開発エリア「光の湊」に誕生する 交流拠点施設ミライニ。

ミライニは、酒田市立中央図書館、酒田駅前観光案内所、広場、市営立体駐車場、バスベイから構成される公共施設です。

再開発で整備されるホテル、バンケット等の民間 施設をはじめ、

マンション住民、周辺商店街や地域の皆様との関係を深め、賑わいに溢れたまちづくりを目指していきます。

ミライニは令和2年11月28日にプレオープンを迎え、公共施設、観光案内所として始動します。

酒田市立中央図書館、広場、市営立体駐車場、バスベイが加わるグランドオープンは、令和4年春に予定しています。

MIRAINI

酒田駅前交流拠点施設

「ミライニ」ネーミングについて

「ミライニ」という名前は、「未来に」向かう、「未来に」はばたく、目線を上にして前に進むようなポジティブなイメージを与えます。ここから始まる、酒田から「未来に」向かって発信していくという、未来への期待が込められています。

全6回参加された方に「皆勤賞」